

施策評価シート

評価年度	平成25年度	事業実施年度	平成24年度	施策主管次長名	政策推進部次長 藤根 金光	
施策番号	67	施策名	連携と友好のきずなで築くまち		総合計画掲載頁	144
関係課名	産業課、学校教育課、スポーツ課、議事課					

1. 施策の概要

施策の目的	対象	市民	対象指標名	単位	H23実績	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
			① 人口	人	58,762	59,141	61,400	62,500	63,700	64,700
			②							
	③									
意図	友好都市交流を推進し、相互の連携と絆を築く				成果指標名	① 交流事業数(年間交流回数) ② 交流事業の市民参加者数 ③ 交流事業での来訪者数 ④ 友好都市交流の推進が重要だと思う市民の割合				

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
①	交流事業数(年間交流回数)	回	15	13	24	14	15	14	15
	指標設定の考え方と把握方法	交流機会を提供する交流事業数を指標とし、秘書室で把握する。							
指標	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
②	交流事業の市民参加者数	人	178	180	291	180	180	180	180
	指標設定の考え方と把握方法	関心の高さを表す数値として交流事業での参加者数とし、秘書室で把握する。							
指標	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
③	交流事業での来訪者数	人	141	100	129	120	130	120	130
	指標設定の考え方と把握方法	関心の高さを表す数値として交流事業での来訪者数とし、秘書室で把握する。							
指標	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
④	友好都市交流の推進が重要だと思う市民の割合	%	58.3	60.0	58.8	60.0	60.0	60.0	60.0
	指標設定の考え方と把握方法	市民アンケートで「重要」及び「やや重要」と答えた市民の割合。友好都市交流の理解度を示す。							

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	友好都市の自然環境や異文化に触れることで視野を広げ、相互理解と将来のみよし市のまちづくり・人づくりを担う。			
	行政	友好都市との相互連携を築くと共に、若い世代にグローバルな視野をもつ機会を提供する。			
達成度評価	近隣との比較	近隣の状況は把握していない。			
	過去3年間の実績との比較	<ul style="list-style-type: none"> 各指標ともほぼ横ばいの状況であるが、相互連携と絆を築くため平成23年度に木曽町と友好都市提携および災害時における相互応援に係る協定、加えて、これまでの友好都市である土別市とも災害時における相互応援に係る協定を締結した。 また、平成24年10月20日、新たに区長会が木曽町の関所まつりで交流を図った。 			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆行政主催事業では、参加定員もあり大幅な機会や交流人口の増加は見込めないため、市民による自主的な事業や新たな交流事業が推進される必要がある。 				
今後の取り組みの方向性および次年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆国内友好都市交流として、スポーツや踊りなどの文化交流、産業フェスタへの相互出展などの産業交流が発展継続できるよう支援するとともに、平成23年度新たに友好都市提携した木曽町と交流についても、より多くの市民に木曽町へ行ってもらい、まちを見て・知ってもらふ事業を推進する必要がある。 ◆国際友好都市交流として、コロンバス市との中学生、教師の派遣や受入れなど交流を継続していく必要がある。 				
	(26年度の取り組み) コロンバス市:コロンバス市学生来訪団受入事業、教育親善大使受入事業、中学生派遣事業 土別市:小学生スポーツ交流事業、児童受入事業、小学生派遣事業 木曽町:友好の森ふれあいツアー、区長交流会、老人クラブ交流会				
市民意識	重要度	低い	満足度	高い	平成24年度市民アンケート調査による